古式ゆかしく「草鹿」を奉納

子どもの成長願い小笠流保存会

端午の節句の5月5日、子どもの健やかな成長を祈って、鎌倉宮で奉納した＝写真。

鎌倉時代、源頼朝が家臣の弓術を上達する方法として草を束ねて作った鹿を射る儀式で、保存会の人たち20人が烏帽子に狩衣姿の装束で披露した。

縦横50㌢余、小鹿ほどの大きさの的は鹿革のぬいぐるみ。紅白に分かれた射手がつるした鹿の的に18㍍の距離から順に矢を放つ。鹿には大小24個の白の円形があり、的中の部位や所作で勝負を競う。ブーンと音を立てて飛ぶ鏑矢もあった。射手には水干狩衣姿の女性もいた。1981年から行っている。

願して、小笠原流の鎌倉古式弓道保存会が古式にのって「草鹿（くさしか）」の儀式をとって鎌倉宮で奉納した＝写真。

ひと

バイオリンとデュオを開くピアニスト

礒部章子（いそべふみこ）さん

5歳からピアノを始めた。ピアノがいやになったことは、と聞くと、「つらいと思ったことはありません」ときっぱり否定された。

「母親が音楽家でなかったからでしょうか。自然に続きました。楽しかったですよ」

県立鎌倉高校卒業後、桐朋学園大音楽学部に進学。家から通えるフェリス女学院の大学院で修士号を取得後、好きな音楽が多く、講習会で訪れたこともあるフランスに渡った。パリ・エコール・ノルマル音楽院でピアノの最高課程のディプロムなどを得た。

そこで師事した1人にロシア人のリュドミラ・ベルリンスカイアさんがいる。彼女の父親がボロディン・カルテットのチェリストで、20世紀最高のピアニストといわれるリヒテルと親しく、家族ぐるみでお付き合いしていたという。その縁で「レッスンの合間に、リヒテルの裏話などをよく伺いました」と振り返る。

中学生のとき初めて買ったCDが、リヒテルのピアノ集。聴いてよかったという強烈な印象があったから「身近な存在になったリヒテルの影響を受けたかも」と笑顔を浮かべた。

2007年のUFAM国際コンクールデュオ部門第1位、ボンヌトン国際ピアノコンクールでヴィスメール賞受賞など好成績を残した。定期的にソロリサイタルを開催。福祉施設で演奏したり、日仏文化交流に参加したりと活動の場も広がり、フルートやバイオリンとのデュオも始めた。

尺八を奏でる父親とのデュオにも挑戦した。尺八を見たこともない人ばかりで、不安もあったが、07年、琴の名曲「春の海」や「六段の調べ」をピアノ向きにアレンジして教会で演奏。「音の響きがすごくよかった。要望にこたえ3年連続で開きました」と喜ぶ。

昨年、6年半に及ぶパリ滞在を終えて帰国。現在はソロ、室内楽などの演奏活動を中心に、鎌倉市材木座の自宅や昭和音大付属の音楽教室でピアノを指導する。

秋から普段演奏会に入場できない乳幼児を対象にした演奏会を始める計画だ。音楽だけでは飽きるので朗読も交えた内容で、「よい音楽に接する機会を増やしたい」と夢を膨らませる。

演奏会は6月18日午後7時から鎌倉生涯学習センターホールで。昨年に続き、パリで知り合ったバイオリニスト三瀬俊吾さんとのデュオ。問い合わせはソン・イマージュ（080・1309・4079　10時～19時）。

文・写真　洞口和夫

『あっ、ムカデの子ども！』

逗子で春のこんちゅう観察会

逗子の原風景と自然が残る名越緑地で5月14日、「春のこんちゅう観察会」が行われた。逗子名越緑地里山の会（飯河正会長）が主催し、家族連れら約30人が参加した＝写真。

同緑地は広さ約8㌶の谷戸で、かつてゴミの“山”だったが宅地開発計画を中止して逗子市に寄贈した。2005年から同市のアダプト・プログラム（里親制度）で里山の会が保全活動を続けている。

講師を務めたのは厚木市郷土資料館の槐真史さん。「手を切るような草やハチなどに注意しよう」などと話して観察を開始した。

子どもたちに移植ごてを渡し、「土の中にどんな虫さんがいるか見つけよう」からスタート。白いビニールシートの上で、ふるいにかけられた土の中から小さな虫が動き出す。

参加者全員で外来種植物の「セイタカアワダチソウを抜いた。

観察会を企画した岡山和生さんは「草原と湿地を自然のままで残したい」と思いを語った。（K）

「あっ、ムカデの子ども！」早速、講師がムカデとヤスデの違いを説明する。

「今度は池の中を見てみよう」とさりげなく子どもたちを誘い、楽しいひとときが過ぎた。

「声は腹筋を使ってはっきり」

プロの演出家ら大船高校で指導

「まわりをみてみんなで作っていこう」と演出家の指導を受けながら、屋外で輪になって準備体操のゲームをする生徒たちの顔に笑顔があふれる。

5月9日県立大船高校演劇部に文学座の演出家・望月純吉さんと、女優の渋谷はるかさん＝上の写真、左から2番目＝が訪れ、演劇の指導をした。

同校の演劇部は県大会で4年連続最優秀賞を受賞、関東大会に出場。09年は全国大会で文化庁長官賞を受賞している。

現在の部員は70人。練習はほぼ毎日行われている。

準備体操が終わると教室で台本読みが始まった。5月下旬に鎌倉芸術館で公演されるニール・サイモン作「思い出のブライトン・ビーチ」の台本が事前に生徒たちに配布されていて、配役を割り当てられた生徒は熱演する。

「腹筋を使って声をだして」望月さんの指導にも力が入る＝下の写真右。

「自分が何者で誰に何をいっているかが大切」「ことばを丁寧にはっきり」生徒たちは望月さん、渋谷さんの言葉に真剣に耳を傾けた。

部長の斉藤睦さんは「時間が短く感じた。貴重な体験をさせてもらった」と話していた。

和賀江島をきれいに！

岩手からも参加し250人が清掃

わが国最古の築港遺跡で国指定の史跡「和賀江島」（材木座）の清掃・保全活動が5月22日行われ、地元市民や団体など約250人が参加した＝写真。

材木座自治連合連絡協議会（山岸清彦会長）が音頭をとって毎年5月に行うエコイベントで、今年35回目。

17年前から参加しているという岩手県北上市の和賀江島清掃団（佐藤克英代表）から8人、今年初めてという鎌倉岩手県人会（早川正行会長）から14人が参加した。

佐藤代表は「震災でいかもしれないが、元気を出そうと言い聞かせ、のぼりを担いでやってきた」と話す。

子どもをおんぶしたお母さんやお年寄りたちもトングを手に浜辺のごみを拾った。材木座の近藤修光さんは「子どもたちにエコを実践させる良いチャンス」と家族5人で参加した。

松尾崇鎌倉市長も長靴、軍手姿になりトングを持ってゴミを拾った。（K）

しょうぶ湯を楽しむ

鎌倉中央ロータリークラブ　市内の老人施設に寄贈

鎌倉市材木座の名越やすらぎセンターで5月5日の端午の節句を前に2日、利用者たちがしょうぶ湯を楽しんだ＝写真。

鎌倉中央ロータリークラブ（石原新一会長）が地域の高齢者に季節を感じてもらい、健康の増進につなげたいと、2006年から鎌倉市内の老人福祉施設にシヨウブ」を寄贈している。

笛田の教養センター、今泉さわやかセンター、玉縄すこやかセンターと腰越のこゆるぎ荘にも届けられた。ひもで束ねたショウブが湯船に浮かべられると、よい香りがただよった。邪気を払う意味もあるという。

鎌倉の歴史を学ぶ

被災地宮城の中学生が修学旅行

五月雨の降る5月10日、鎌倉大仏・高徳院を東日本大震災で被災した宮城県から仙台市立東華中学校3年生ら約150人が修学旅行で訪れた。同校は被害はなかったが、体育館を一時避難者に提供したという。修学旅行を取りやめるべきか議論があったが「こういう時こそ元気を出そう」と、歴史を学べる鎌倉を選んだ。

鎌倉ガイド協会（高橋健治会長）のベテランガイド12人が案内役で、12グループに分かれ、鶴岡八幡宮、建長寺、円覚寺などから高徳院に集合した。

同院では「大仏の設計や鋳造法、なぜこんな大きな大仏を造ったか」などの説明を受けた。

同校生徒の歓迎セレモニーに駆け付けた松尾崇鎌倉市長は「鎌倉市も被災地の応援に出掛けました。どうか元気を出してください」などと挨拶した＝写真。

鎌倉市観光協会の安田浩二常務理事は「鎌倉を選んでくれてありがとう」と観光グッズを贈った。同ガイド協会はガイド料を全額図書券にしてプレゼントし、生徒たちを励ました。（K）

お香 香炉 香道具 匂い袋 高級線香 念珠 他
鎌倉に蘇える伝統の香り
香司 鬼頭天薫堂 鎌倉
鎌倉市雪の下1-7-5 小町通り八幡宮寄り
TEL. 0467-22-1081（代）
http://www.tenkundo.co.jp/

漢方薬専門薬局・漢方処方調剤
大船の漢方薬
大船漢方堂
漢方薬専門薬局ですので、なるべく本人が御来店下さい。
〒247-0061 鎌倉市台1-3-10 TEL.0467(47)3311
営業時間：午前10時～午後7時 木・日・祝日休業

●海外旅行のときは相手を見つけて
“Do you speak English?”と聞くんです。
フランスでもドイツでも楽しい返事がかえってきますよ。
（勇気だめし）
カマクラン英会話（教室／鎌倉・婦人子供会館）
朝／夜
10クラスから選定
指導／コガワ他 外人助手
週1回／月3回／月謝制￥5,000
電話問合せ／0467・25・6923（カマクラン事務局）

Yanase かまくらカスター
鎌倉本店 鎌倉駅前本館 ☎23・3851
逗子店 ルミネウィング（大船）店
横浜そごう店 藤沢小田急店

八幡宮前・蒲焼専門店
うなぎ 茅木家
☎（22）1460

明日の環境を創造する。
浄化そうの清掃維持管理
貯水槽清掃及び環境整備事業は
株式会社 神中運輸
〒248-0007 鎌倉市大町4-1-35 ☎(0467)(22)2205(代)